



【表紙写真】令和7年4月に着任された先生方（左より、林医師・馬場医師・新山医師・田淵医師）

第10回 池田病院
腎臓病教室

◆日時：令和7年6月14日(土)
14:00～(2時間程度)

◆場所：池田病院 多目的ホール

◆参加料：無料 ◆定員：20名程度

【講話内容】 ①日常生活の注意点(看護師)
②薬と腎臓について(薬剤師)
③実践！腎臓を守る運動(作業療法士)
④慢性腎臓病と食事について(管理栄養士)
⑤医療費の制度について(社会福祉士)
⑥腎臓病について(腎臓内科医師)

【お問合せ先】池田病院ケアサポートセンター
(平日 8:30～17:30) 担当：小牧
☎(0994)43-3434(代表)

Dr. topics(血液内科 林秀憲 医師)

新入職員歓迎会

健康だより【毎年5月17日は“高血圧”の日】

ナーシングホームひだまり

鹿屋訪問看護ステーション

外来コラム

病院説明会／鹿屋体育大学サッカー部通信

5月 外来診療表

血液内科

林 秀 憲 医師



新緑がまぶしく、風薫る5月となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

はじめまして。今年度より池田病院にて血液内科の診療を担当させていただいております、林秀憲(はやしひでのり)と申します。簡単ではありますが、自己紹介をさせていただきます。

私は東京都で生まれ育ちましたが、中学・高校の6年間を鹿児島県のラ・サール中学・高校で過ごしました。卒業後は東京の大学に進学しましたが、一念発起して医師になることを目指し、長野県にある信州大学医学部へ進学・卒業して医師となりました。高校在学の際にはまさか自分が医師となるとは夢にも考えていなかったため、15年ぶりに医師として鹿児島に帰ってくることとなり、とても感慨深い思いです。鹿屋に赴任して早くも1か月が経ちますが、耳に馴染んだ鹿児島の言葉や、ときおり降る桜島の火山灰に懐かしさを感じながら毎日を過ごしています。

医学の道に進んだのは、身近な人の病をきっかけに、「誰かの力になりたい」という思いが芽生えたからでした。

中でも血液内科は、診断から治療までの過程が複雑で奥深く、患者さんと長い時間をかけて向き合っていく診療科です。1人1人の生活や人生に寄り添いながら支えるこの分野に魅力を感じ、専門とすることを決意しました。

昨年度は、東京にある昭和医科大学病院で血液内科としての第一歩を踏み出しました。経験豊富な先輩やスタッフの方々に導かれながら診療と研修に励み、さまざまな血液疾患に触れながら、専門的な知識と経験を積むことができました。今年からはご縁があって池田病院に勤務し、血液疾患の診療に携わることになりました。池田病院は大隅半島の血液疾患を一手に担う、地域の中核病院と伺っています。かつて青春時代を過ごした鹿児島の地で、医師として働けることに深い喜びと責任を感じております。これまで学んできた知識や経験を活かしながら、地域の皆様の健康を支え、信頼される存在となれるように精進してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度医療法人青仁会

新入職員歓迎会

令和7年4月15日、令和7年度新入職員歓迎会を開催しました。新入職員37名を代表して、看護師の津曲美唯菜さんより挨拶をしていただきました。

この度、新入職員歓迎会にて、循環器内科の東福先生より『長く働いて想うこと』と題したスピーチをいただきました。長きにわたり池田病院に貢献されてきた東福先生の温かいメッセージは、新たな仲間となる新入職員にとっては心強い道しるべとなり、また、共に働く私たちにとっても、これまでの歩みを振り返り、未来への活力をいただく貴重な機会となりました。病院の発展、医療の進化、そして何よりも共に支え合ってきた仲間たちへの深い感謝の念が込められた感動のスピーチを、ぜひご一読ください。

ご紹介に預かりました循環器内科の東福です。

私よりも長年勤めている職員さんもおられる中、このような機会をいただき、池田会長、池田理事長、中嶋院長ありがとうございます。これまでのことを振り返る良い機会となりました。

私は2007年に鹿児島大学病院旧第二内科からの非常勤医として入職いたしました。当時は循環器内科の常勤医として窪先生がおられましたが、その後大輔先生が帰ってこられ、心臓カテーテル検査が始まりました。記念すべき初回の心カテの様子は今でも印象深く覚えています。その後私も2011年から大学からの出張という形で常勤医となりました。

当時は常勤医は15名程度で、私よりも年配の先生がほとんどで、私などは下から3番目で若手のほうでしたが、今では勤務医としては消化器内科の堀之内先生の次に古株となりました。今年でトータル18年目に入り20年表彰を楽しみにしております。

この18年の間に池田病院は劇的に変化したと思います。

放射線科に宮川先生がこられ、画像診断が格段に向上し、IVR治療が発展しました。

富士川先生がこられ、脳卒中治療が始まりました。船迫先生がこられ、乳癌治療が始まりました。

私の所属する内科系でお話しますと、当時は呼吸器内科の常勤医がおらず、私も呼吸器系疾患の患者さんを受け持つことも多かったため、当時から非常勤で勤務されておられた寒川先生が週1日水曜日にこられるのが、いつも待ち遠しい思いでした。その後上野先生、寒川先生が常勤で入職され、大隅で唯一、常時呼吸器疾患を専門的にみられる病院となりました。

血液内科も中嶋院長が帰ってこられ、今では常勤医3名に増え、大隅で唯一、常時血液疾患を専門的にみられる病院として発展しました。

消化器内科も大学病院から今中先生をはじめ常勤医が3名増え、大隅になくはない科となっています。また池田徹会長が作られ、発展させてこられた透析部門はその当時から県内有数の規模を誇っていました。大学からの常勤医は1名でしたが、今では古城先生をはじめ3名の常勤医がこられています。私は循環器内科ということもあり、先生方にはたびたび助けていただいております。これまでも、これからも、池田病院内科の中心にあるような科だと思っております。

私の所属する循環器内科はといいますと、これまで大輔理事長との二人体制の期間が大部分でありました。大学病院時代は、同じ医局の同じグループでしたが、出張等の関係で、ほとんど接点はありませんでした。その後こんなに長く、ご一緒させていただくことになるとは思っていませんでした。これも先生のお人柄による

ところが大きいかと思えます。

循環器はこれまで大隅唯一といえるものはなかったのですが、昨年鹿児島県に10人程度しかいない不整脈専門医の田上先生と山下先生が入職され、大隅唯一、いや鹿児島市外では唯一の常時カテーテルアブレーションのできる施設になりました。これまであまり交流のなかった施設からの紹介も増え、すでに多くの患者さんが手術を受けておられます。

このような内科系の充実に加えて、なんといっても変化したのは救急部門が立ち上がったことです。2024年度の救急車受け入れ件数は2354台で大隅地区では最多の受け入れ施設となりました。久木田先生、田中先生を中心に体制が整えられ、多数の外科系の先生も入職され、私たち内科医にとっては頼りになる存在です。当時は救急室もなく、救急搬送患者は、病院正面から入り、患者さんの座っている待合をつきつて、今の採血室に搬入されていた光景が思い出されます。

この18年の間で印象深かったのは、やはりコロナの流行であったと思います。コロナ患者を受け入れ可能な病院は限られており、特に初期のころは、怖さを感じながらの対応でした。外来にも発熱患者が押し寄せ、この地域ではおそらく、池田病院が一番多くの患者さんに対応したのではないかと思います。その経過において、発熱トリアージ外来が設置されました。夏は暑く、冬は寒く、時には雨に濡れながら、各部署協力しながら多くの患者さんに対応しました。この時期を乗り越えたことは一個人としても病院にとっても、印象深いものだったと思っています。

現在は池田病院の常勤医は30名ほどに増え、その当時では想像できないほどパワーアップしました。医局の変化に伴い、医療系、事務系問わず、各部署の業務も劇的に変化したものと思います。その多くは医師に合わせていただいております、ご苦労をかけていると思います。兼ねてより各部署が、私たち医師が診療しやすいように動いてくださり、本当にありがとうございます。この場をかりて感謝申し上げます。

最後になりますが、この18年で青仁会での私の役割も少しずつではありますが、変わってきたように思います。昨年6月より老健施設ひだまりの管理医師を任され



ました。入所者さんへの対応、リハビリ面談、自宅訪問などが主な仕事です。初めての経験で、思いのほか大変なこともあります。やりがいのある仕事だと思っています。これからも専門の循環器を主軸に、内科全般、老人医療など、青仁会及び大隅の医療に貢献していきたいと思っています。

毎年5月17日は“高血圧”の日です

「世界高血圧デー：World Hypertension Day」は、国際高血圧学会により、高血圧およびその管理に関する啓発を目的として、2005年に創設され、日本は2007年から参加しています。今月は“高血圧”について考えていきましょう。

高血圧(140/90 mm Hg 以上)は、日本の三大死因のうちの二大疾患である脳卒中や心臓病など、生命に関わる病気を引き起こす最も主要な原因となっています。しかし、高血圧はサイレント・キラーと呼ばれ、**自覚症状がない**ために、現在約 4,000 万人と推定されている高血圧患者のうち実際に**治療を受けているのはわずか 2 割**の約 800 万人といわれています。

高血圧治療ガイドラインで定められている血圧目標値および至適血圧値

75 歳以上の患者さん	まずは 150/90 mm Hg 未満、可能であれば 140/90 mm Hg 未満を目標に
75 歳未満の患者さん	140/90 mm Hg 未満
蛋白尿を伴った慢性腎臓病・糖尿病を合併している患者さん	130/80 mm Hg 未満
至適血圧値*	120/80 mm Hg 未満

*脳、心臓、腎臓などの臓器が、脳梗塞や心臓病、腎臓病といった障害を起こさないための、理想的な血圧の値のこと。

正しい方法で血圧を測ろう



静かに・・・



血圧は、運動・安静・入浴・排便・食事・睡眠・体調・精神緊張等の条件で著しく変わります。測る前には静かにし条件を一定にした状態で測りましょう。

【時間】朝 起床後1時間以内

(食事、服薬の前に)

夜 就寝前

その他 体の調子が悪いとき

★座った後、1～2分安静後に測定しましょう。

【腕】人によって左右差があります。左と右で血圧が 10 mm Hg 以上違う場合は、高い方の腕で測りましょう。

★手首タイプを使っている場合は、血圧計の高さを心臓の高さと同じにしましょう。

背もたれ
背もたれにもたれてリラックスする。

カフの中心
カフの中心を心臓(目安は乳首)の高さと同じにする。

手のひら
腕の力を抜いてテーブルの上に置き、手のひらを上向きにする。

両足
足を組まずに両足を床につける。



日常生活の留意点

汁は残す！



① 減塩について

塩分を取りすぎると体内に水分が蓄積し、血流量を増加させ、これにより血圧が上昇します。減塩方法として、汁物の汁は残す、ご飯のお供(漬物、佃煮など)の回数を減らす、刺身の醤油やトンカツのソースなどはかけるよりつけて食べる、などがあります。厚生労働省の「日本人の食事摂取基準(2020年版)」では、成人男性は7.5g未満、女性は6.5gを目標としています。日々の食事で減塩を心掛けましょう。

② 寒さについて

温かい所から急に寒い所へ移動すると、血管が収縮し、血圧が上がります。特に冬は室内と外気との差がなるべく少なくなるよう、衣服の調整をしましょう。夏、冷房が効いた部屋から出る時にも血圧を上昇させるので、外気との温度差が5度以上にならないように衣服を調整しましょう。



③ 入浴について

入浴も血圧の上昇や下降に関係します。特に、冬は寒い脱衣所で裸になると血圧が上がり、熱い風呂に入るとさらに上昇し、風呂に浸かっていると徐々に下がります。そして、風呂から上がると血圧は大きく下がります。あまり熱いお湯(42℃以上)ではなく、ぬるめ(40℃ぐらい)の風呂に5~10分間位浸かりましょう。風呂場はシャワーを出して温め、脱衣所には暖房器具を置くなど工夫しましょう。

④ 排泄について

いきみの時間が長いと血圧が上がります。スムーズな便通を心掛けるよう普段から便秘を予防しましょう。

- ・毎日便意がなくても、決まった時間にトイレに行く。胃や大腸は朝食後に刺激を受け、活発に動くので朝食後が望ましいです。
- ・朝食前に冷水や冷たい牛乳を飲む。
- ・繊維の多い野菜(人参・大根・ごぼう)や海藻類を多く摂る。
- ・腹部を自分で「の」の字にマッサージする。



注意※ 腹部大動脈瘤を持っている人は行わないようにしましょう。緩下剤などの下剤が必要な場合もあります。

⑤ たばこについて



喫煙により血管が収縮し、一時的に血圧が上がるばかりでなく、血液の流れを悪くし、血液が凝固しやすくなり動脈硬化の原因となります。たばこは「百害あって一利なし」です。血圧のためには禁煙しましょう。

⑥ お酒について



1日の飲酒量は、男性ではアルコールとして1日20~30mlまで、日本酒なら1合=180cc、ビール中瓶1本、ウイスキー水割ならシングル2杯まで。女性はその半分までが適量です。大量飲酒は血圧を上げ、脳卒中や心臓病、肝臓病などの原因にもなりますが、一方では少量飲酒者は飲まない人に比べて動脈硬化がいくらか軽く、心筋梗塞や循環器病での死亡も少ないことも知られています。お酒は適量とし、治療中の方は主治医に相談するようにしましょう。

⑦ 肥満について



太りすぎは血圧を上げ、心臓にも負担をかけ、全身の動脈硬化を進めます。肥満判定基準で男女共に、BMI=25以上は肥満です。但し、人それぞれの体にあった減量方法、減量傾向があり急激な体重減量が必ずしも正しいとは言いきれません。治療中の方は主治医にどのくらいの体重が望ましいか、どのくらい痩せればよいかたずねてみましょう。

参考資料：国立研究開発法人国立循環器研究センター-<https://www.ncvc.go.jp/hospital/pub/knowledge/disease/hypertension-2/>

こんにちは！保健師です。

皆さん、血圧を測っていますか？健診や病院で測定すると緊張することも多く、高めになりがちです。自宅で安静時に血圧を測り、記録しておくことで普段の血圧を知る事ができます。血圧測定は高血圧症予防の第一歩です！！

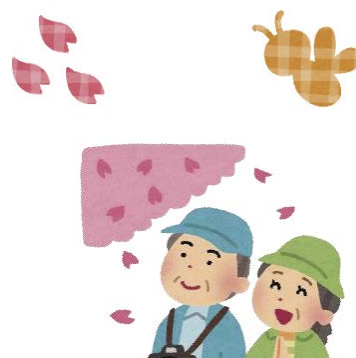
ケアサポートセンター：徳田、小牧



お花見をしました♪

4月は、暖かくお天気の良い日に桜を見にお出かけしました。

ひだまり近くでは川沿いの桜が今年も綺麗に咲いており、見頃を迎えた満開の桜にご利用者も「綺麗だねえ!!」と大変喜ばれている様子でした。



また、フロア毎にドライブを計画し、霧島ヶ丘公園や平和公園、柏原海岸のルーピン畑を見にお出かけしました。皆様、春の暖かい陽気を楽しまれていました。今後も施設での生活を、楽しく笑顔でお過ごしいただけるよう毎月の行事を計画してまいります。

ひだまり 事務 宮地

●介護老人保健施設とは、介護が必要な方の家庭復帰・在宅支援をめざし、生活サービスを行います。

利用対象者：介護保険の被保険者が対象となります。要支援1・2/要介護1～5の方(入所サービスは要支援を除きます。)

手続き方法は、当施設か、担当ケアマネージャーにご連絡ください。見学をご希望の方はいつでも2階の受付またはお電話にてお申し付けください

ひだまり通所リハビリ

※月曜～土曜日のどの曜日も受け入れ可能です。短時間利用のコースもあります。新規にご利用を希望される方は問い合わせ先までご連絡ください。 ◆お問合せ先：通所リハビリ 繁昌(支援相談員)

ひだまり訪問リハビリ

※住み慣れた在宅での生活が安心・安全にその人らしく継続できるように支援して参ります。こんなことが楽にできるようになりたい、こんな生活がしたいなどの希望があれば下記連絡先までご連絡ください。 ◆お問合せ先：訪問リハビリ 星野(理学療法士)



介護老人保健施設
ナーシングホームひだまり
ショートステイ/通所リハビリ/訪問リハビリ
代表(0994)41-1200/通所(0994)41-1725

ひだまりホームページアドレス

★<https://rouken.ikedahp.com>

ホームページからのお見舞いメールもぜひご利用ください

訪問看護ステーションからのお知らせ

私たち鹿屋訪問看護ステーションは、看護師12名 リハビリ療法士6名 事務2名が所属しています。

「在宅で自分らしく生きることを支えます」を目標に取り組んでおり、
住み慣れた我が家で安心して療養生活が送れるよう、看護師等がお手伝いします。

訪問看護のサービス内容

ご家族への
介護支援相談

病状の観察

清拭・洗髪等

ターミナルケア
カテーテル管理

介護度に関わらず病状観察や
療養生活に不安のある方を
専門家の目で見守り、
自立支援を行います。

褥瘡予防・処置

食事指導
排泄介助の管理

リハビリ

医師の指示による
診療補助



池田病院の新人オリエンテーションで訪問看護の説明を行いました



訪問看護では赤ちゃんから高齢者まで、
健康に不安があるときに、
また、最期を家でむかえる為に退院するときに、
24時間・365日専門のスタッフが在宅での療養
生活を支えます。

10名の新人Nsの皆様、
訪問看護に興味がある方はどうぞお声をかけ
てくださいね。
よろしくお願いします。



鹿屋訪問看護ステーション 鹿屋市下祿川町1794番地
☎ 0994-44-4776
サテライト白水 鹿屋市白水町1986-11
☎ 0994-45-6801
作成者: 下村*福永*松本





新緑が芽吹き、穏やかな春の日差しを感じる季節となりました。

4月を迎えて新年度となり、今回からは外来からのコラムを毎月掲載させていただく事となりました。初回は、新入社員が入社してくる中で外来について知っていただきたく、誌面を通してご紹介させていただきます。

外来は、一般と救急の2つの部門に分かれています。一般部門では24の診療科があり、初診や継続的に通院する患者様の診察や検査および処置治療を行っています。救急部門では、事故や転倒などで怪我をした患者様や、突然の不調や急変した病気の患者様を救急車による搬送で受け入れて検査や処置、治療を行っています。また、池田病院では地域と連携してドクターカーと救急車を運用しています。

スタッフは外来43名と外傷センター5名で忙しい毎日ですが、一人ひとりの患者様と向き合って業務を行っています。

令和7年度の外来の部門目標は「協働と連携」を掲げました。

1. 良好なコミュニケーションで連携強化できる。
2. 部署全体で接遇能力の向上と実施ができる。
3. 患者満足度の向上を目指す。
4. 働きやすい職場環境の整備ができる。
5. 医療安全を部署全体で考え、実践できる。

この5つの項目を目標に、外来スタッフ一同の笑顔で患者様に安心していただき、「池田病院に来て良かった」と思っていただけよう努めて参ります。外来はスタッフが良い方ばかりですのでとても働きやすいです。何か気になることがありましたらお気軽に声を掛けていただけたらと思います。



看護補助者 牧野美穂 / 看護師 田中健成

病院説明会

去る3月6日(木)に、鹿屋市立鹿屋看護専門学校で病院説明会が行われました。会場には大隅地域の10施設程が参加しており、池田病院のブースには20名ほどの学生さんが説明を聞きに来られました。池田病院看護部は、3つの魅力『新人教育の充実』『働きやすい環境・福利厚生』『地域で生きる看護職のキャリアデザイン』をアピールし、また、奨学金貸与制度の説明を行いました。



令和7年度は8名の新卒入職者を迎えます。このような機会に池田病院のことを少しでも知っていただき、就職先として数多くの施設の中から選択していただけるような、魅力ある病院・看護部であり続けたいと思います。

副看護部長 永田麻理



鹿屋体育大学 サッカー部 通信

Vol.31

九州大学サッカーリーグ 結果&予定 (4月-6月上旬分)

鹿屋体育大学サッカー部 (Topチーム) が参加する九州大学サッカーリーグが4/12に開幕しました！鹿屋でのホームゲームには、是非応援にいらしてください！

- 4/12 (土) 11:00- 九州産業大グラウンド
鹿屋体育大学 ○11-1 沖縄国際大学
- 4/13 (日) 11:00- 九州産業大グラウンド
鹿屋体育大学 △1-1 宮崎産経大学
- 4/19 (土) 11:00- 鹿屋体育大学サッカー場
鹿屋体育大学 ○7-0 九州共立大学
- 5/17 (土) 11:00- 鹿屋体育大学サッカー場
鹿屋体育大学 vs. 長崎国際大学
- 5/25 (日) 11:00- 九州国際大学 KIUフィールド
鹿屋体育大学 vs. 九州国際大学
- 5/31 (土) 11:00- 鹿屋体育大学サッカー場
鹿屋体育大学 vs. 日本経済大学

九州サッカーリーグ 結果&予定 (4月-6月上旬分)

鹿屋体育大学サッカー部の2軍にあたるNIFS KANOYA FC (NIFS 1st) が参加する、九州大学サッカーリーグが4/5に開幕！また、4月下旬より天皇杯県予選も始まります。

九州サッカーリーグ

- 4/5 (土) 11:00-新富フットボールセンターB
NIFS KANOYA 1st ●2-3 ジェイリース
- 4/6 (日) 12:30- 新富フットボールセンターA
NIFS KANOYA 1st ●0-4 ヴェロスクロノス都農
- 4/13 (日) 11:00- 大分スポーツ公園サッカー場A
NIFS KANOYA 1st ●0-1 日本製鉄大分
- 4/20 (日) 11:00- 鹿屋体育大学サッカー場
NIFS KANOYA 1st ●1-2 KMGホールディングス
- 5/18 (日) 13:00- 西階陸上競技場
NIFS KANOYA 1st vs. 延岡AGATA
- 6/1 (日) 12:00- 島原市陸上競技場
NIFS KANOYA 1st vs. 三菱重工長崎

サッカー部 SNS のご紹介



インスタグラム



X (旧 Twitter)



YouTubeチャンネル

天皇杯 鹿児島県予選

- 1回戦 4/27 (日) 11:00 県立サッカー場A
NIFS KANOYA 1st vs. A.T.CIELO
- 準々決勝 4/29 (火祝) 14:00 県立サッカー場A
- 準決勝 5/4 (日) 11:00 県立サッカー場A
鹿屋体育大学 vs. 準決勝進出チーム
- 決勝 5/11 (日) 13:00 白波スタジアム
決勝進出チーム vs. 鹿児島ユナイテッドFC (J3)

池田病院は、鹿屋体育大学サッカー部を応援しています！

診療科目	月	火	水	木	金	土
総合内科	今 中 大	担 当 医	本 田 七 海	担 当 医	是 枝 陸	担 当 医
腎臓内科			池 田 徹	池 田 徹	古 城 卓 真	
透析内科	古 城 卓 真 田 淵 智 久	潤 田 智 久	古 城 卓 真 潤 田 淵 智 久	古 城 卓 真 潤 田 淵 智 久	古 城 卓 真 潤 田 淵 智 久	潤 田 智 久 田 淵 智 久
腎炎専門外来		古 城 卓 真				吉 嶺 陽 造 (第4)
血液内科	中 嶋 秀 人 詞	中 嶋 秀 人 詞	吉 満 誠	竹 下 有 節	上 野 卓 也	中 嶋 秀 人 詞
脳神経内科	担 当 医		岩 田 真 一			池 田 賢 一 (第3・5)
消化器内科	新 山 寛 季	大 井 貴 之		新 山 寛 季	大 井 貴 之	大 井 貴 之 (隔週) 新 山 寛 季 (隔週)
消化器専門外来			熊 谷 公 太 郎	小 牧 祐 雅	佐 々 木 文 郷	担 当 医
肝臓専門外来	今 中 大	今 中 大	平 峯 靖 也	今 中 大	今 中 大	担 当 医
消化器内科 内 視 鏡	大 井 貴 之	新 山 寛 季	新 山 寛 季	小 牧 祐 雅 大 井 貴 之	佐 々 木 文 郷 新 山 寛 季	担 当 医
呼吸器内科	寒 川 卓 哉	上 野 史 朗	寒 川 卓 哉		上 野 史 朗 安 田 俊 介	
呼吸器外科	鬼 塚 貴 光	武 田 亜 矢 (第3)		鬼 塚 貴 光		
糖尿病内科			川 本 雄 大	上 久 保 定 一 郎 (第3)	西 牟 田 浩	
循環器内科	東 福 勝 徳	池 田 大 輔 東 福 勝 徳	東 福 勝 徳 大 坪 稔 拓	池 田 大 輔	池 田 大 輔	池 田 大 輔
脳神経外科 脳・血管内科		羽 生 未 佳	富 士 川 浩 祥			
リハビリテーション科						川 津 学 (第2)
整形外科	廣 井 津 匡 隆 之 手 貴 貴 之	川 井 田 秀 文	瀬 戸 口 啓 夫 (隔週) 高 野 純 (隔週)		担 当 医	担 当 医
消化器外科	豊 崎 良 一				豊 崎 良 一	
放射線科(画像診断)	宮 川 勝 也	宮 川 勝 也		宮 川 勝 也	宮 川 勝 也	宮 川 勝 也
心臓血管外科		上 野 隆 幸			上 野 隆 幸	
乳腺外科	船 迫 和		船 迫 和	船 迫 和 (手術日)	船 迫 和	船 迫 和
外傷総合外科				福 森 和 彦		
外 科				田 中 誠		
救 急 科	田 中 誠	田 中 誠	久 木 田 一 朗 田 中 誠	久 木 田 一 朗 富 士 川 浩 祥	石 神 崇	富 士 川 浩 祥 石 神 崇
歯 科	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子		奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子
健診内視鏡	堀 之 内 史 郎	堀 之 内 史 郎	堀 之 内 史 郎	堀 之 内 史 郎		
血液内科		中 嶋 秀 人 詞	吉 満 誠	竹 下 有 節		
消化器専門外来			熊 谷 公 太 郎	小 牧 祐 雅	佐 々 木 文 郷	担 当 医
消化器内科 内 視 鏡	大 井 貴 之 新 山 寛 季	大 井 貴 之	熊 谷 公 太 郎 新 山 寛 季	小 牧 祐 雅 大 井 貴 之	佐 々 木 文 郷 大 井 貴 之	
循環器内科	東 福 勝 徳		東 福 勝 徳			
循環器内科 (不整脈外来)		田 上 和 幸 山 下 恵 里 香		田 上 和 幸 山 下 恵 里 香	特殊外来 デバイス(第3・5) 失神・スマートウォッチ (それ以外) 担当医	
脳神経外科 脳・血管内科	富 士 川 浩 祥	羽 生 未 佳		石 神 崇		
呼吸器外科		永 田 俊 行 (第2・4)				
リハビリテーション科						川 津 学 (第2)
整形外科			担 当 医		担 当 医	
脳神経内科	担 当 医		岩 田 真 一			
放射線科(画像診断)	宮 川 勝 也	宮 川 勝 也		宮 川 勝 也	宮 川 勝 也	
乳腺外科	船 迫 和		船 迫 和	船 迫 和 (手術日)	船 迫 和 (第1・3・5)	船 迫 和
外 科			白 濱 浩 司			
救 急 科	田 中 誠	田 中 誠	久 木 田 一 朗 田 中 誠	久 木 田 一 朗 富 士 川 浩 祥	石 神 崇	石 神 崇
歯 科	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子		奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子

【受付時間】 午前…8:30～11:00 午後…休診(午後診療は予約以外は休診となります) ※急患の場合この限りではありません。

※総合内科以外は必ずご予約の上、ご来院ください。

※かかりつけ医のある方は、必ず紹介状をご持参ください。(紹介状をご持参の場合もご予約が必要となります。)

予約・変更・お問い合わせ

外来診療予約・変更

TEL:0994-45-5278
FAX:0994-45-5259

放射線科

TEL:0994-45-5163
FAX:0994-45-5271

健康診断・人間ドック

TEL:0994-40-8782
乳がん検診も承ります。

歯 科

TEL:0994-43-6468